46 テーマ別 作文

出題傾向
●資料をもとに、自分の考えや、提示された意見に対する立場を書く問題がよく出る。自分の考えや立場を明らかにし、資料をもとにその根拠をわかりやすく書けるようにしよう。

標準問題

▲△▲ ある新聞に掲載された次の投書を読んで、あとの〈条件〉にしたがい、〈注意事項〉を守って、あなたの考えを書きなさい。〈千葉〉

投書　平成二十八年二月八日付け

孫の言葉に違和感

自営業　千葉太郎（千葉県　78）

孫にビデオカメラの使い方を尋ねたときのこと。孫が「詳しくは後で。今は、ざっくりと説明するね。」と言うのです。

「ざっくり」の意味がわからず聞き返すと「おおざっぱに」という意味合いだとか。

私は「ざっくり」は、別の意味で使っています。日頃使わない表現なので違和感を覚えたのですが、私だけなのでしょうか。

〈条件〉

① 二段落構成とし、十行以内で書くこと。

② 前段では、下の資料1や資料2（どちらか一方または両方）から読み取れることを根拠にして、投書の問いかけについてあなたの考えを書くこと。

③ 後段では、前段の内容をふまえて、言葉の新しい使い方についてのあなたの考えを書くこと。

〈注意事項〉

① 氏名や題名は書かないこと。

② 原稿用紙の適切な使い方にしたがって書くこと。

ただし、〜〜や ═══などの記号を用いた訂正はしないこと。

資料1　国語辞典の説明の比較

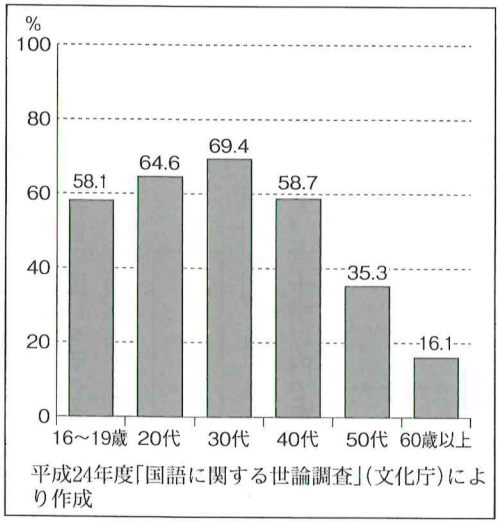
二〇〇二年版の国語辞典A

ざっくり〔副〕
❶力を込めて一気に切ったり割ったりするさま。「厚紙に―（と）はさみを入れる」❷大きく割れるさま。「―（と）割れたスイカ」❸布地・編み物の目や手触りがあらいさま。「―（と）したセーター」

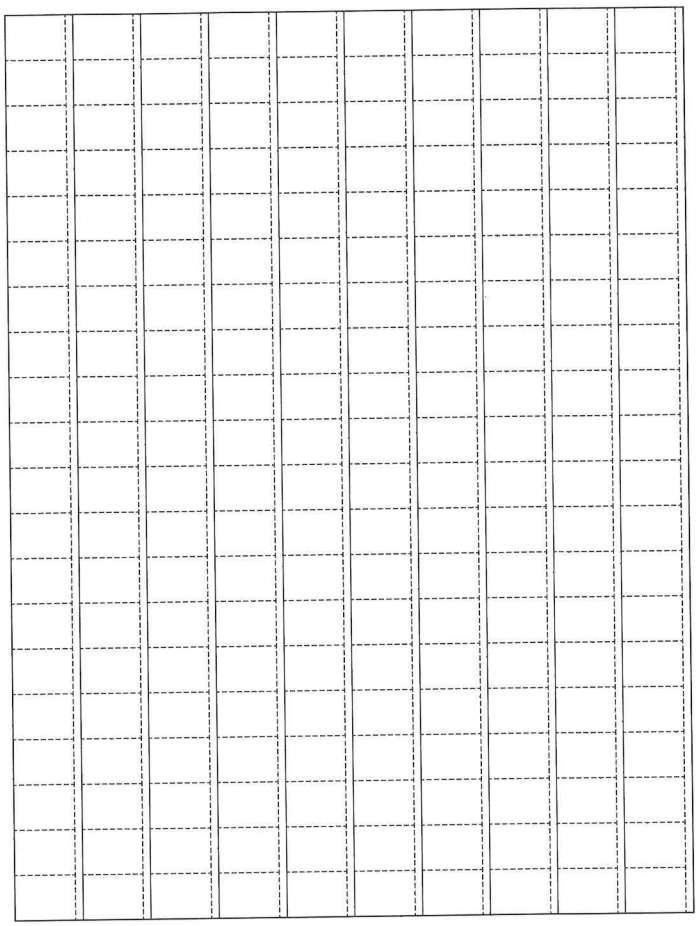
二〇一〇年版の国語辞典A

ざっくり〔副〕
❶力を込めて一気に切ったり割ったりするさま。「厚紙に―（と）はさみを入れる」❷大きく割れるさま。「―（と）割れたスイカ」❸布地・編み物の目や手触りがあらいさま。「―（と）したセーター」❹大まかであるさま。「―（と）計算したところでは」

資料2　「ざっくりとした説明」という言い方をしたことがある人の割合



平成24年度「国語に関する世論調査」（文化庁）により作成



10

アドバイス

「日本語・言葉・コミュニケーション」は入試作文でよく取り上げられるテーマである。

この問題の資料2は、文化庁が毎年実施している「国語に関する世論調査」に基づいている。これは、敬語、外来語、慣用句の意味など、日常生活での日本語表現・コミュニケーションに関係のある事柄についての調査である。この「国語に関する世論調査」による資料が、入試の作文問題にはよく取り上げられている。

これまでに次のような問題が出題されている。

- 文字を手書きする習慣をこれからの時代も大切にすべきであると思うか。
- 敬語をどのような機会に身につけてきたと思うか。
- 子供の言葉遣いに与える影響が大きい人やものはどれだと思うか。
- 人と接する際、相手や場面に合わせて態度を変えようとするほうか。
- 「他山の石」は、どちらの意味だと思うか。

（「国語に関する世論調査」の結果の概要は、文化庁のウェブサイトで見ることができる。）

私たちは毎日「言葉」を使って生活しているが、身近すぎるためにあまり深く考える機会がない。普段の生活の中で、「日本語やコミュニケーションにはどのような問題があるか」という意識をもち、それに対する自分の考えをまとめる練習をしておこう。

作文問題に共通する注意点としては、設問文の〈条件〉や〈注意〉などには、適切な構成で書けるような指示が書かれているので、よく読んでしたがうこと。また、指示がなくても説得力のある構成で書けるように、普段から練習をしておこう。

発展問題

▲△▲ ある中学校の近くに公園ができることになりました。地域にはどのような公園が望ましいかについて、次の三つの代表的な意見があります。三つの意見と資料A、Bを読んで、新しくできる公園について、あなたの意見をあとの〈注意〉に従って書きなさい。

〈福井〉

○中村さん（十歳　女子）

最近、近くの公園から滑り台やブランコがなくなりました。そのような遊具は危ないという理由からです。

しかし、滑り台やブランコもきちんとした遊び方をすれば、けがをすることはありません。いろいろな遊具がある方が、友だちと一緒（いっしょ）に体を動かして楽しく遊ぶことができます。家でゲームばかりしている友だちも、公園に遊びにくるようになると思います。だから、遊具がたくさんある公園にしてください。

○島田さん（三十五歳　女性）

公園には木々と花々、それに広場とベンチがあれば十分です。いろいろな器具を設置するのではなく、使う人の自由に任せてよいのではないでしょうか。何か目的をもって器具を設置すれば、利用する対象者が限られてしまうと思います。

いろいろな年代の人が集まってきて、思い思いの過ごし方ができる、この地域に住むすべての人が利用できる広場のような公園が一番よいと思います。

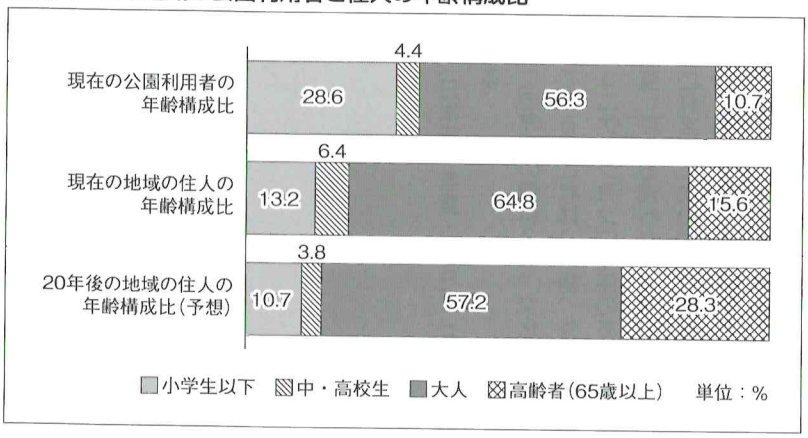
○宮川さん（六十五歳　男性）

公園は子どもが使う場所と思いがちですが、実は我々の年代も使うことが増えてきています。滑り台にブランコ、ジャングルジムというのがひと昔前の定番でしたが、最近、背伸ばしベンチ、ぶら下がり器具など、体力維持のための健康遊具が増えています。

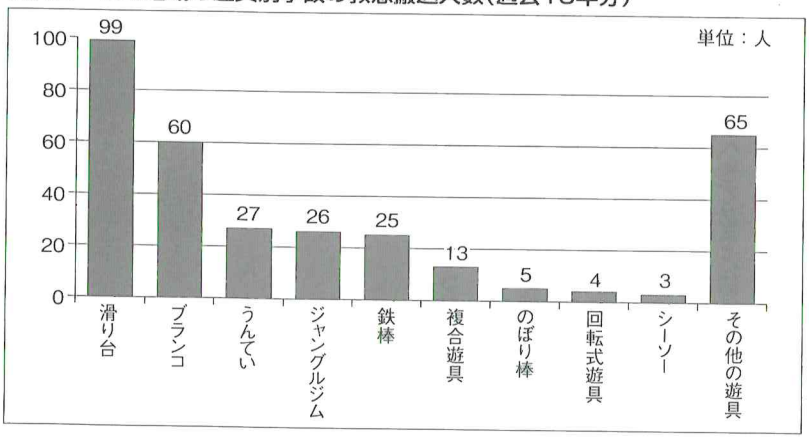
健康に不安が出てきた我々の年代こそ、ウォーキングや体操、それに健康遊具で体力を保つべきです。だから新しい公園では、ぜひ健康遊具を設置してください。

5

資料A　この地域の公園利用者と住人の年齢構成比



資料B　この地域の遊具別事故の救急搬送人数（過去10年分）



〈注意〉

1　文章は、二段落構成にし、二百字以上、二百四十字以内で書くこと。

2　第一段落には、あなたが賛成する意見を一つ選び、理由をつけて書くこと。

3　第二段落には、第一段落で選ばなかった二つの意見について、あなたが選ばなかった理由を説明すること。その際、第二段落は「それに対して」で書き始めること。

4　第一段落、第二段落とも資料と関連付けて書くこと。ただし、すべての資料を使う必要はありません。

5　題名や氏名は書かないで、直接本文から書き始めること。

6　原稿用紙の正しい使い方に従い、文字や仮名遣いなどを正しく書くこと。また、漢字を適切に使用すること。

なお、グラフの中の数値を使用する場合は、次の例にならって書くこと。

二十八・六%

九十九人

240　200

アドバイス

入試作文のテーマや出題方法にはいろいろな種類があるが、自分の意見や考えを述べる作文を書くことが多い。「自分の意見を、はっきりとした根拠（理由）を挙げて述べ、読み手を『なるほど』と納得させること」を心がけて書こう。

読み手を納得させるためには、意見の根拠（理由）が明確でなければならない。グラフなどの資料を使って具体的な数値を示したり、比較したりするなど、客観的な根拠を挙げると効果的である。また、別の意見の欠点や不備を指摘したり、自分の意見に対してどのような質問や反論が出るかを予想したりして、その回答も含めて書くのもよい。

書き上げた作文は必ず読み返そう。単なる好き嫌いを述べただけだったり、自分の意見を押し付けたりしていないだろうか。できれば、他の人に読んでもらうとよい。